

令和6年度



赤羽根の里だより



茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和6年4月22日(月)

校長 高橋 励

Dear Student(*^_^*)

自分の伸びしろ、みつかった？ ～春の大会観戦～

この土・日は、野球・剣道・男女のバスケットボールの大会会場を巡ってきました。どの会場にも応援の保護者の姿があり(顔や名前がわからなくても、拍手のタイミングで「赤羽根中を応援してくれているな」ということが分かるものですね)とてもありがたかったです。

さて、選手の皆さん、お疲れさま！次の週末に試合が続くチームや、上位大会への出場権を得たチーム



もあれば、夏の中体連の総合体育大会にターゲットを切り替わったチームもありますが、運動部で活動してきた3年生にとっては、70日余りで「最後の大会」を迎えることになります。



今週は家庭訪問期間。顧問の先生がいない中で活動が続きます。このあと体育祭やキャンプ、修学旅行や前期

中間テストなど、意外に中学生生活はいそがしいものだったりします。でも、それは、赤羽根中以外の中学生もみな同じ。その時間をどう自分の成長に使っていくかが、納得できるゴールにつながるのではないかと思います。

チームとして、ペアとして、そして一人のプレイヤーとして、あなたの「伸びしろ」は数えきれないほどたくさんあるな。あ、大会を観戦するなかで感じました。



ゴールまでの日々はすべて通過点。できたことを確かめ、やりきれなかったことに気づき、自分が



どう変わりたいかを考え、そうなるためには何ができるかをふりかえることはとても意味があること。

これ、3年生だけの話ではないですね。

試合に出場してチームを支えているし、2年生。あなたが今がんばることは、今年の3年生を支えることに加えて、来年度以降のあなた自身を支えることにもつながります。



結果はあとからついてくるもの。今、自分ができていることをきちっと見据えて、毎日を積み上げてほしい、と思う校長でした。

結果は次の号で紹介します(*^_^*)